



誰でも払える安い国保税で安心安全な暮らしを

## コロナ禍の国保税大増税はさけるべき！ 基金の今後を考えた必要な措置です



谷口 眞治 議員

コロナ禍の苦しみに追いつけず、国保税の大増税はさけるべきです。

- ① 県一本化で国保の構造的課題は解決したか。
- ② 医療費平準化が大増税の原因か。
- ③ 基金と一般会計繰出金の活用で、増税を避けるべきではないか。
- ④ 未就学児子ども均等割免除の動向と対象を拡大

- ① 県一本化で、国保の不安定な財政的構造の財政基盤が強化されて安定化しています。
- ② 医療費の平準化による算定方式の見直しは、増税へ影響はありません。
- ③ 基金の取崩額は、「今

泣くか、後で泣くか」基金残額を考えると決めました。一般会計からの繰入は、県交付金が減となり、適切ではありません。

④ 令和4年度から、子育て支援のための均等割半額分の公費負担を国が決定しました。町独自の対象児童の拡大は、考えていません。



経営がたいへんです



森浦 繁 議員

## 新型コロナウイルス感染症対策は 運転資金などの支援を引き続き行います



- ① 産業への対策について
- ② 地域経済への対策について

町長 町として、農林水産業の事業者の皆様方に対しては、美しい村づくり資金利子補給金、豊かな海づくり資金利子補給金、商工業の事業者の皆様方に対しては、経済支援融資緊急利子補給金により、当面の運転資金などの手当に係る支援を引き続き行います。次に、地域経済への影響については、移動自粛から

観光客が減少し、地域内消費も減少しています。まずは、ワクチン接種により以前にも増して観光客の入込みを期待します。また、商工会が行う商店街お買物事業への補助や県が行う県民宿泊割引、各種消費拡大キャンペーンなどにより地域経済の回復を期待します。